

2020年7月16日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2020年7月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、悪化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、持ち直しの動きがみられている。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増勢が鈍化している。住宅投資は、弱い動きとなっている。輸出は、減少している。

こうした中で、生産は、減少している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が当地の企業や家計のマインドに与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目	基調判断		
	前回	今回	
景気全体	新型コロナウイルス感染症の影響から悪化している。	悪化している。	
需要項目	個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。	持ち直しの動きがみられている。
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	増加している。	増勢が鈍化している。
	輸出	新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。	減少している。
生産	新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。	減少している。	
雇用・所得	新型コロナウイルス感染症の影響から労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。	労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。	

2. 個人消費

- 個人消費は、持ち直しの動きがみられている。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	持ち直しの動きがみられている。
	スーパー売上高	持ち直しつつある。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直しの動きがみられている。
耐久消費財	家電販売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直しの動きがみられている。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行取扱額は、国内外ともに大幅に減少した状況が続いている。この間、観光面も、厳しい状況が続いている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱い動きとなっている。

5月の新設住宅着工戸数は、持家の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

6月の公共工事請負金額は、市町村発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、増勢が鈍化している。

6月短観（九州・沖縄地区）における2020年度の設備投資（除く電気・ガス）は、製造業が前年を上回る一方、非製造業が前年を下回る計画となっている。

5月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、減少している。

5月の輸出額（九州経済圏）は、前年を下回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、減少している。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、大幅に減少している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	車載向けを中心に弱含んでいる。
汎用・生産用 ・業務用機械	一般産業向けを中心に弱めの動きとなっている。
化 学	設備トラブルの影響などから生産水準が低下している。
鉄鋼・非鉄金属	大幅に減少している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

労働需給をみると、有効求人倍率は低下している。

4月の雇用者所得総額は、現金給与総額の減少を主因に前年を下回った。

9. 物価

- 5月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（5月：＋0.1%）。

10. 金融

- 5月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- 5月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 6月の企業倒産をみると、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。

以 上